

中国民営企業海外直接投資の実態 — TOP500 に基づくデータ分析

中国南開大学 薛 軍／蘇 二豆／喬 冀超

要約

中国の大規模な対外直接投資の傾向は既に形成されている。その中で、民営企業は海外直接投資を促進するために不可欠な柱として重要な役割を果たしてきた。にもかかわらず、現段階までにほとんどのデータベースで民営と国有企業が区分できず、民営企業海外直接投資に関する専有データベースもなく、これら領域に関する統計分析などの資料は大変少ない。本稿は BvD-Zephyr と fDi Markets の二つのデータベースを原始データソースとして、また中国工商聯合会が毎年公表する民営企業 TOP500 のリストをサンプルにして、中国民営企業 TOP500 の海外直接投資および関連するデータをスクリーニングして作成している。

本稿では、海外 M & A、グリーンフィールド投資の二つの次元に合わせて、それぞれの投資ソース別、投資目的国（地域）別、投資目的産業別、融資モデル別（M & A のみ）などから各種指数を作成し、多くの角度から直観的に中国民営企業グローバル化の現状を明らかにする。各種の中国民営企業の海外直接投資指数は、明確かつ直観的に、2005 年から 16 年までの過去 12 年間の中国民営企業海外直接投資の項目数やその金額の変化規則を反映しているといえる。

目次

はじめに

1. 中国企業の海外直接投資の現状
2. 中国民営企業海外直接投資の激しい勢い
3. 中国民営企業の海外 M & A 投資における新特徴
4. 中国民営企業の海外グリーンフィールド投資の新傾向
5. 結語

はじめに

民営企業は中国固有の概念である。資本主義国では、国有企業に属する鉄道、郵便事業、たばこ産業を除き（もちろん民営化された国も数多くある）、ほとんどの企業が民間・個人経営になっているため、「民営企業」という言葉はあまり言及されない。中国の中華全国工商業聯合会¹（以下、全国工商聯と称す）は、民営企業を私営企業²、あるいは非公有制経済³が保有する有限責任会社および株式有限会社と規定し、国有資本の絶対保有企業と外国資本の絶対保有企業（香港、マカオ、台湾を除く）はこれに含まれない⁴。

中国は2009年に世界最大の輸出国となり、2017年には2013年～15年の後に再び世界最大の貿易国となった。中国が貿易大国になるにつれて、対外投資は増加したが、これは必然的に貿易量の拡大に伴うものである。中国商務部の統計によると、中国の対外直接投資は2002年の27億米ドルから16年には1,701億米ドルに増加し、17年は前年比でマイナス29.4%の1,200.8億米ドルであったが、中国の大規模な対外直接投資の傾向は既に形成されている。その中で、民営企業は海外直接投資を促進する不可欠な力として重要な役割を果たしてきた。本稿の統計結果によれば、中国の民営企業TOP500による海外直接投資案件数は、2005年の7件から16年の211件に増加し、金額も2005年の1億2,000万米ドルか

ら16年には658億5,000万米ドルに増え、中国民営企業の海外直接投資は飛躍的な拡大を成し遂げた。

本稿は中国海外M&A投資を代表するBvD-Zephyrデータベース、および海外グリーンフィールド投資を代表する英国フィナンシャル・タイムズのFDi Marketsを採用し、この二つのデータベースを原始データソースとした。また、全国工商聯が毎年公表する民営企業TOP500のリストをサンプルとして、中国民営企業TOP500の海外直接投資および関連するデータをスクリーニングして作成している。

全国工商聯は1998年より民営企業に対する研究調査を開始し、2011年以降、調査研究対象の年度営業収入総額を5億元以上に引き上げた。中国民営企業TOP500は規模的にも産業技術的にも発展状況が比較的成熟しており、中国の産業の大部分をカバーすることができる。また全国に分布しており、中国民営企業の海外直接投資の動向や特徴を十分に反映することができる。

本稿では、M&A、グリーンフィールド投資の二つの次元に合わせて、それぞれ投資ソース別、投資目的国（地域）別、投資目的産業別、融資モデル別（M&Aのみ）などから各種指数を作成し、多くの角度から直観的に中国民営企業のグローバル化の現状を明らかにする。

中国民営企業の海外直接投資指数は、明確かつ直観的に、2005年から16年までの過去12年

1) 中華全国工商業聯合会は、中国統戦部に所属、工商業界の最大の商会で、全国各級工商聯合会の全国的な組織である。

2) 私営企業とは、中国国家統計局、中国国家工商行政管理局「企業登録タイプを区分する規定について」（1998年8月28日、国統字〔1998〕200号）第9条の規定に基づいて、自然人が投資して設立し又は自然人ホールディングスの雇用労働を基礎とする営利的な経済組織。

3) 公有制経済と非公有制経済は全て特色ある中国社会主義市場経済の重要な構成部分である。公有制経済とは、国有経済、集団経済及び混合所有制における国有成分と集団成分を指す。非公有制経済は公有制経済を除いた全ての経済構造の形態である。个体経済、私営経済、外資経済などを含む。

4) 中華全国工商業聯合会「2015年度全国工商聯における規模以上民営企業についての調査を実施する通達」、2016年1月27日（http://www.acfic.org.cn/web/c_000000010003000100010003/d_43920.htm）

間での中国民営企業海外直接投資の項目数やその金額の変化規則を反映することができる。

この指数を比較することにより、中国民営企業海外直接投資の特性をより効果的に、かつ迅速的に把握し、より全面的に中国民営企業海外直接投資の現状を反映することができる。本稿の中の全ての指数は、2011年から15年までの項目数または金額の平均数を基準期間値として算出している。

1. 中国企業の海外直接投資の現状

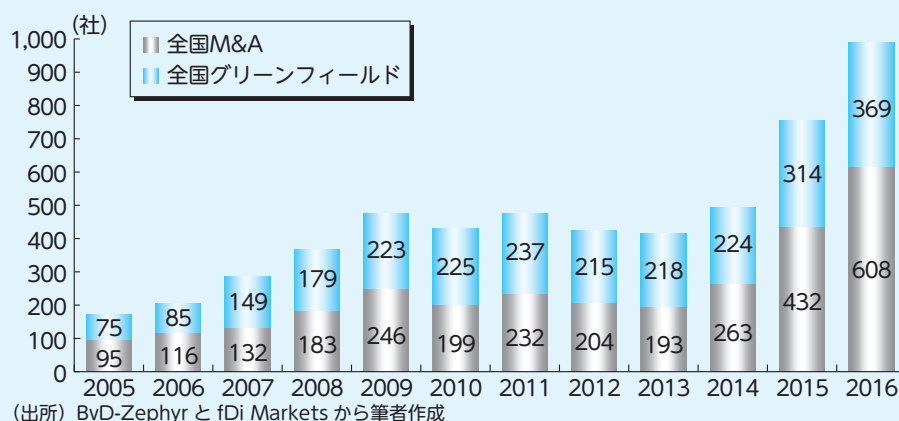
図表 1-1 の示すように、2015 年以来、中国の

海外直接投資は急成長を遂げている。2016 年には、中国では 977 社の企業が対外直接投資を行った。12 年前の 2005 年に対して 5.8 倍近く増加したのである。M&A とグリーンフィールドで分けると、608 社が M&A 方式を採用し、369 社がグリーンフィールド投資を行ったが、2005 年と比べてそれぞれ 6.4 倍と 4.9 倍に増加した。

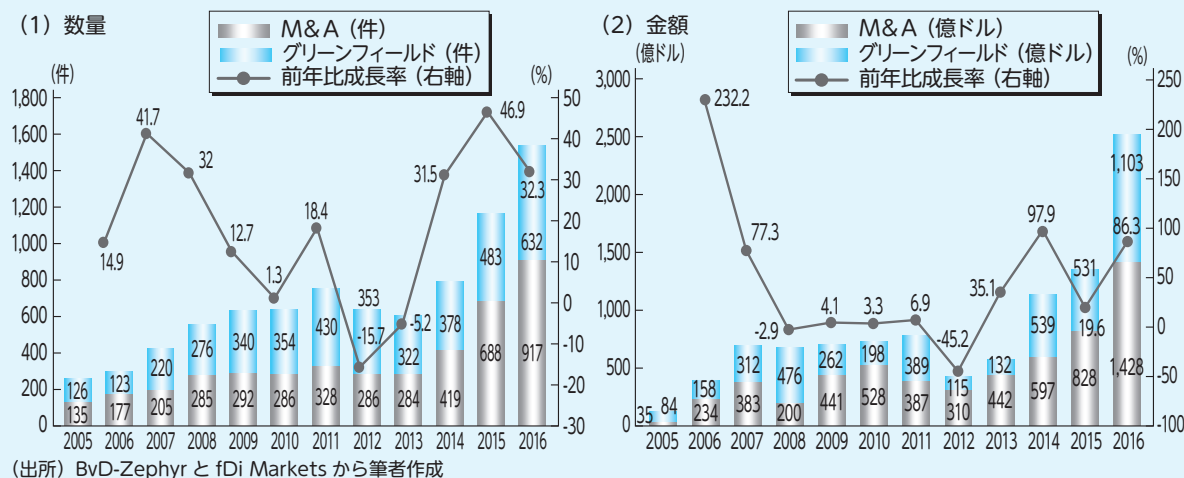
案件数から見れば、2016 年に中国企業は海外にて計 1,549 件のプロジェクトに投資をしたが、12 年前の 2005 年と比較して 5.9 倍の増加となった。M&A とグリーンフィールド別に分類する

と、そのうち特に M&A が多く 917 件あり、グリーンフィールド投資は 632 件であった。2005 年と比較すればそれぞれ 6.8 倍と 5.0 倍に増加した。図表 1-2 に示されたように、中国の海外投

図表 1-1 2005年～2016年中国海外M&Aとグリーンフィールド投資の企業数



図表 1-2 2005年～2016年中国海外投資案件数と金額の前年比成長率変化図



資は、2007年のサブプライム危機以前にはこれまでにない繁栄を見せていたが、その後は減少する一方で、2012年から13年にかけて低水準まで下がった。その後の2014年から16年までの3年間は、海外合併・買収およびグリーンフィールド投資の両方でともに急速な成長を遂げた。特に、2015年の海外M&A案件数の成長率は前年比+64.2%に達し、記録を更新した。

2. 中国民营企业海外直接投資の激しい勢い

民営サンプル企業を統計した結果によると、中国の民营企业の海外直接投資は全体としてはかなり急速な発展を遂げている。2005年から16年の間に、投資案件数から見れば、中国の民营企业の海外直接投資は30倍に増加し、そのうち、M&A投資は約31倍に、グリーンフィールド投資は約30倍に増加した。同期間に投資金額は532倍に増加し、そのうちM&Aとグリーンフィールド投資はそれぞれ340倍と768倍近くに増加した。

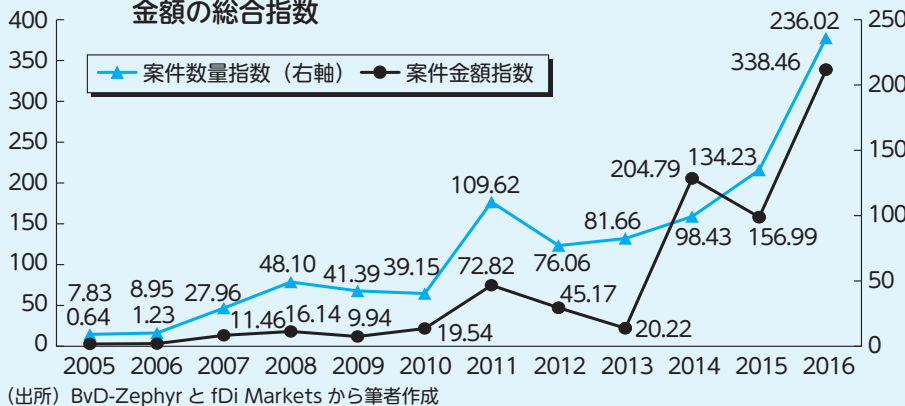
また、2009年から13年にかけてのサブプライム・モーゲージの危機に起因する国際環境の変

化と世界的な金融危機により一時的に海外投資は底を打ったが、2014年以降、中国のゆとりのある金融政策、「一帯一路」戦略の提唱および産業レベルアップによる過剰生産能力の解消を目的とする海外進出などの国家戦略の下で、中国企業の海外直接投資は新たなピークを迎えた。図表2-1に示した総合指数曲線は、この投資の長期的な上昇傾向を明確に反映している。また2014年と16年の案件では、一件当たり取引の金額がますます大きくなっており、これは民营企业が徐々に海外直接投資市場に多額の資金を投入し始めていることを示している。

投資ソースの角度から見ると、2005年から16年にかけて、各地域の対外直接投資はプロジェクト数と金額の両方ともに波を描く発展傾向にあったが、全体としてはどちらも上昇傾向を示した。投資プロジェクトの数は、長江デルタが全体の36.56%、珠江デルタは30.55%を、中西部地域は18.16%、環渤海地域は14.72%を占めた。投資プロジェクトの金額はそれとは異なり、環渤海地域が48.28%を占め、長江デルタは22.79%、中西部地域は17.85%、珠江デルタは11.08%であった。これは、環渤海地域の投資案件数は少な

いものの、金額は非常に大きく、大規模な投資プロジェクトが多いことを反映している。その一方で、珠江デルタには多くの投資案件数があるが、金額は非常に小さく、大部分が小規模の投資

図表2-1 2005年～2016年海外直接投資民営サンプル企業の数および金額の総合指数



プロジェクトという特徴を反映している。

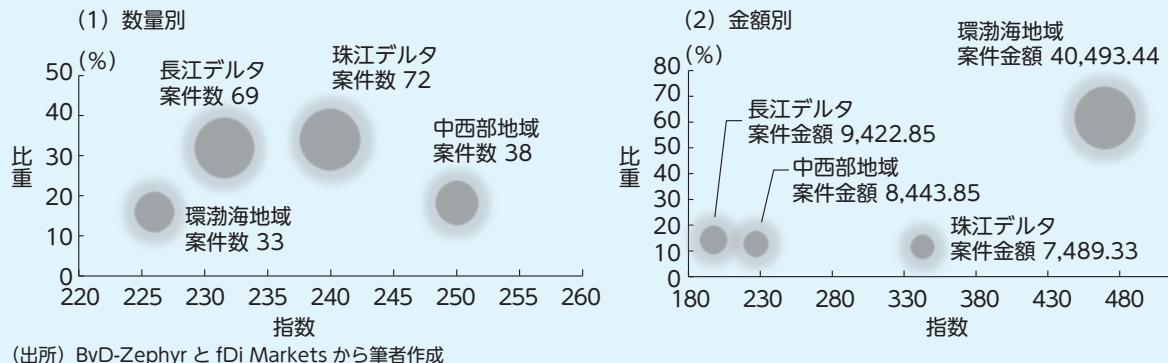
投資目的地域の視点から見ると、2005年から16年の12年間に、各地域における投資数量の上位3位は、アジア、ヨーロッパ、アフリカである。また投資額の上位3位は、ヨーロッパ、アジア、北米（米国とカナダ）である。プロジェクト当たりの平均取引金額では、ヨーロッパが最も大きく、平均7.6億米ドルであり、次いでアフリカが同4.78億米ドル、オセアニアは第3位の同4.31億米ドルである。アジアの投資案件数は254件と最大であるが、プロジェクト当たりの平均金額は1.75億米ドルである。つまり、ヨーロッパのプロジェクトが最も大きく、アジアのプロジェクトは最も小さい。

また、投資目的国（地域）から見ると、この12年間に、投資数の上位3位は、米国、香港、ドイツであり、投資額では米国、エジプト、オーストラリアである。プロジェクト当たりの平均取引金額で並べると、エジプトで最も大きく、平均で22.56億米ドル、次いでオーストラリアで同4.31億米ドル、香港は同0.88億米ドルとわずかで、米国とドイツの平均はそれぞれ3.16億米ドルと1.9億米ドルであった。

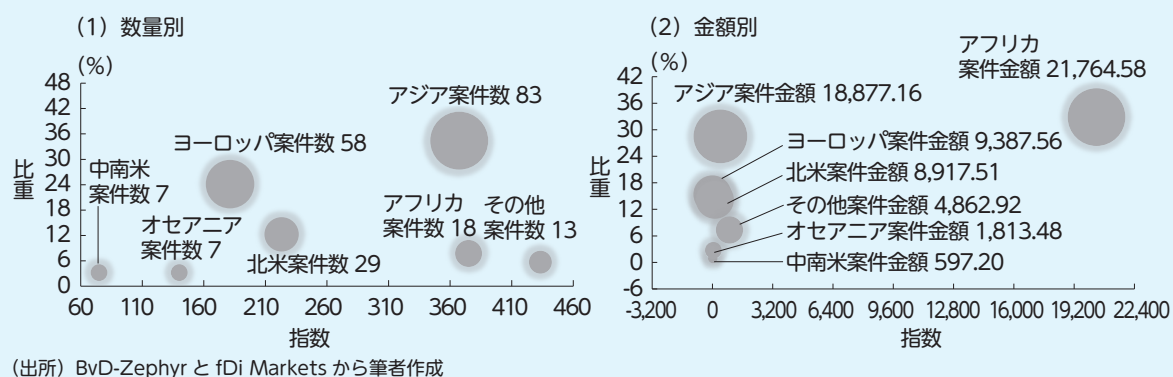
さらに、キャピタルトランジットとしてのケイマン諸島は、この12年間で中国の民営サンプル企業の対外直接投資プロジェクトが22件、平均当たりで2.97億米ドルの投資額を引き付けた。

投資産業の面では、2005年から16年までの

図表2-2 2016年民営サンプル企業の投資ソース別のプロジェクト数および金額の指数分布図
(単位：件、100万ドル)



図表2-3 2016年民営企業の投資目的地別プロジェクト数および金額の分布図(単位：件、100万ドル)



12年間に於いて、サンプル企業の対外直接投資案件数は製造業が61.83%、非製造業が38.17%を占めている。一方、プロジェクト金額から見ると、製造業は29.41%、非製造業は70.59%を占めている。製造業のプロジェクト数は半分以上を占めたが、金額は総額の3分の1にも及ばない。これは投資額の中心が不動産、娯楽、金融およびその他のサービス産業に置かれていることを示す。ちなみにこれらは近年、急速な拡大傾向を示している。

製造業において、2005年から16年までの12年間のプロジェクト数・金額を100%とすると、高技術に属するプロジェクトは全体の39.05%を占めるが、その金額はわずか12.71%である。中高技術・中低技術のプロジェクト数は全体の50.63%を占め、金額は67.05%を占めており、製造業の投資目的産業の主体となっている。その中で、中低技術の平均プロジェクト金額はより大

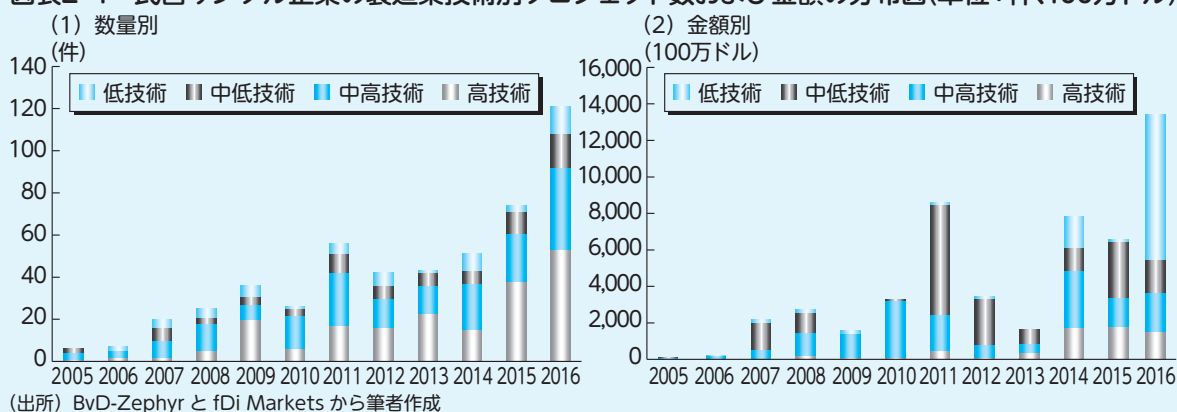
きい。低技術のプロジェクト数は10.25%にすぎないが、金額は20.27%を占めており、高技術に比べてプロジェクト数は少ないが、プロジェクト金額の比重はより大きい⁵⁾。

3. 中国民营企业の海外M&A投資における新特徴

選定された民営サンプル企業の海外M&A投資の総規模から見ると、プロジェクトの数と金額は、それぞれ全国の7.5%と15.4%を占めている。同時に、その案件の数量指数および金額指数を比較分析すると、M&A投資プロジェクト当たりの金額が大きくなることが徐々に新しい発展傾向となっていることが分かる。

海外M&A投資のソースから見ると、長江デルタのプロジェクト数は2005年から16年の12年間で最大のシェアを占め、全体の45.43%であり、次いで環渤海地域が20.43%、中西部地域

図表2-4 民営サンプル企業の製造業技術別プロジェクト数および金額の分布図(単位：件、100万ドル)



5) 『OECD 科学、技術、業界の 2009 報告』により、高技術には医薬品製造、オフィス、会計やコンピュータ設備、ラジオ、テレビや通信機器、医療機器、精密機器、光学機器、時計を含む。中高技術には化学品及び化学製品（医薬品を除く）、その他の機械設備、電気機械装置、自動車、トレーラーとセミトレーラー、鉄道機関車、他の場所に分類されていない鉄道輸送機関車およびその他の牽引車およびその他の輸送機器を含み、中低技術にはコークスや石油精製品や核燃料、ゴム、プラスチック製品、その他の非金属鉱物製品、非鉄金属と金属製品（機械設備を除く）、船舶の製造や修理を含む。低技術では食品、飲料、たばこ、紡績、織物、服装製造（毛皮の仕上げおよび染色、革の日焼けおよび仕上げ）、荷物、ハンドバッグ、馬具、ハーネスおよび履物、木材、木製品及びコルク製品（家具を除く）、草編み物や織物製品、パルプ、紙、紙製品、印刷および出版、家具、他の製造業とリサイクル製品を含む。

と珠江デルタがそれぞれ 20.12% を占める。しかし、プロジェクト金額では、環渤海地域が最大の 52.42% を占め、次いで長江デルタ地域が 18.96%、中西部地域が 18.23% を占めている。環渤海地域のプロジェクト数はわずか 5 分の 1 ほどであるが、プロジェクト金額は総額の半分以上を占めている。これより、環渤海地域の海外 M&A 投資は大規模なプロジェクトがほとんどであると推測される。

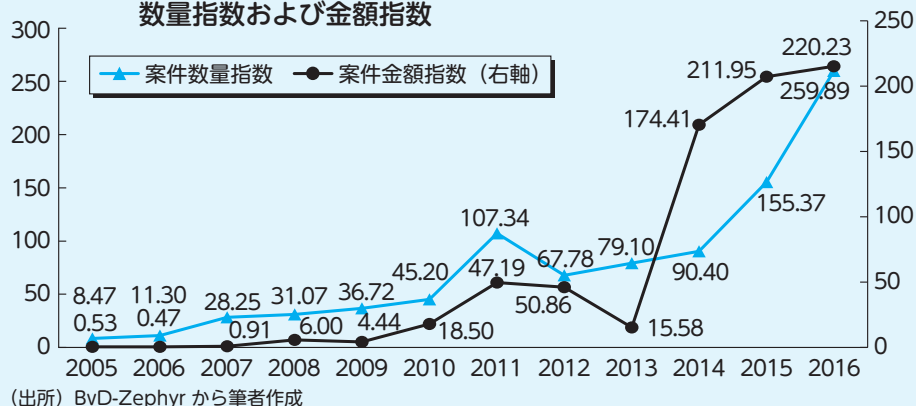
2005 年から 16 年までの 12 年間に、M&A の投資目的地域別の視点から、プロジェクト数の上位 3 位は、ヨーロッパの 33.43%、アジアの 29.82% とその他（ケイマン諸島、英領バージ

ン諸島、バミューダ諸島）の 25.60% である。プロジェクト金額では、上位 3 位はヨーロッパの 36.67%、北米の 27.36%、その他（ケイマン諸島、英領バージン諸島、バミューダ諸島）の 15.58% である。さらに、プロジェクトの平均金額はオセアニアが最も大きく、次いで北米、欧州は第 3 位であり、それぞれ 5.58 億ユーロ、4.09 億ユーロと 2.40 億ユーロである。

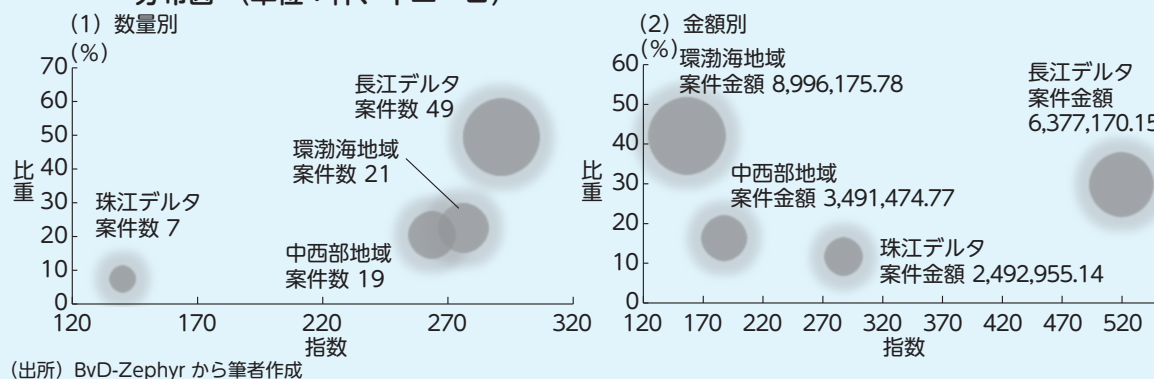
その 12 年間で、国（地域）別を投資対象とし、M&A プロジェクト数から見ると、上位 5 位は香港の 49 件、米国の 45 件、ケイマン諸島の 22 件、ドイツの 18 件、オーストラリアとチェコ共和国が並列の 17 件である。金額の分布では、上位 5

位は米国の 200.3 億ユーロ、オーストラリアの 94.9 億ユーロ、ドイツの 73.4 億ユーロ、ケイマン諸島の 58.7 億ユーロ、香港の 40.8 億ユーロである。また、プロジェクト当たりの平均金

図表3-1 2005年～2016年民営サンプル企業海外M&Aプロジェクトの数量指数および金額指数



図表3-2 2016年海外M&A投資した民営サンプル企業の所在地別プロジェクト数および金額の分布図 (単位: 件、千ユーロ)



額で並べると、上位5位はスイスの7.9億ユーロ、オーストラリアの5.6億ユーロ、米国の4.4億ユーロ、ドイツの4.1億ユーロ、ケイマン諸島の2.7億ユーロであった。スイスの投資案件数はわずか4件であるが、金額は最大である。

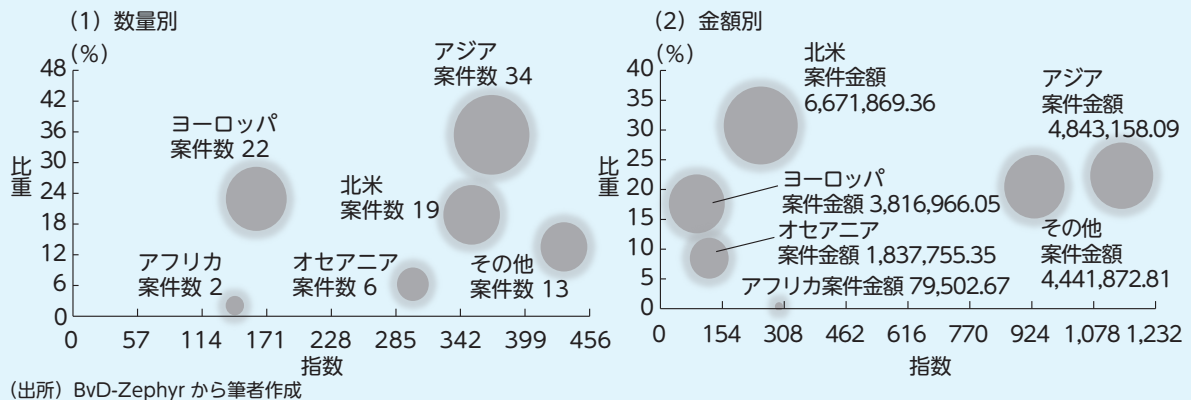
2005年から16年の12年間に、中国民营企业の海外M&A投資の産業分布のサンプルデータから、投資案件数では製造業が45.95%、非製造業が54.05%を占めていることが分かる。投資金額では、製造業と非製造業はそれぞれ29.69%と74.31%を占めている。これより、投資プロジェクトの金額面においては、非製造業が製造業を大きく上回ることが分かる。

また、製造業全体を100%とした場合、OECD業界分類基準に従って分けると、21.56%を占める低技術の投資プロジェクト数が最も多く、次いで中高技術の48.30%、中低技術の18.30%、高技術の11.76%である。プロジェクトの投資額から見ると、低技術が最も高く、42.77%を占め、次いで中低技術が32.04%、中高技術が23.86%、高技術はわずか1.33%である。

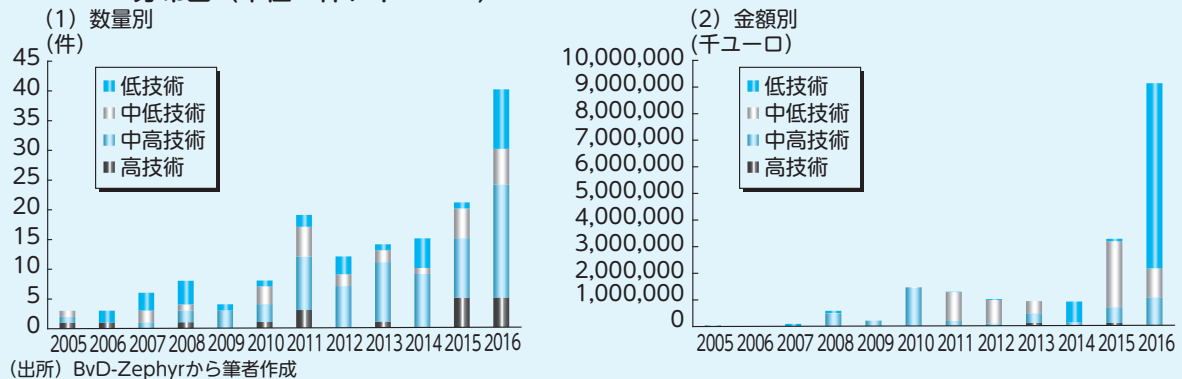
海外M&Aによって選択された融資モデルおよび支払方法から考えると、中国民营企业の海外M&A融資パターンには三つの顕著な特徴がある。

第一に、M&A投資案件数の観点から、資本増強 (capital increase)、資本注入 (capital

図表3-3 2016年民营企业の投資目的地別のプロジェクト数および金額の分布図 (単位: 件、千ユーロ)



図表3-4 2005年～2016年海外M&Aサンプル企業の製造業技術別プロジェクト数および金額の分布図 (単位: 件、千ユーロ)



injection)、プライベート・エクイティ (private equity)、プライベート・プレースメント (private placements) という四つの融資形態が主とされ、資本増強 - 売り手の配置 (capital increase—vendor placing)、転換社債の発行 (convertible bond issue)、転換社債の発行 (convertible loan notes)、企業ベンチャー投資 (corporate venturing)、レバレッジド・バイアウト (leveraged buy out)、新規銀行ファシリティ (new bank facilities)、IPOとベンチャーキャピタルは補足的とされているが、公募 (public offering)、クラウドファンディング (crowd funding)、メザニン・ファイナンス (Mezzanine Finance)、その他の融資チャネルは全く採用されていない。

第二に、M&A投資プロジェクトの金額から判断すると、レバレッジド・バイアウト、新規銀行ファシリティ、プライベート・エクイティの三つの融資チャネルに関わる資金は、他の融資チャネルよりもはるかに大きい。

第三に、国内金融市場の発展に伴い、ベンチャーキャピタルとレバレッジド・バイアウトの二つの融資モデルが表れ始めており、五つのベンチャーキャピタルM&Aプロジェクトが2010年、14年、15年に表れ、二つのレバレッジド・バイアウトM&Aプロジェクトが14年と16年に発生した。

また、中国民営企業の海外M&A投資の支払方法の特徴は顕著で、次のようである。まず、全体から見ると、現金、転換社債、債務引受、繰延支払、銀行信用、株式などの支払方法があったが、現金約定や支払計画の二つの支払方法は表れていない。第二に、支払方法は主に現金であり、その割合は90%以上を占めている。第三に、銀行信用に関わるM&Aのプロジェクト金額は、他の支

図表3-5 2005年～2016年中国民営企業海外M&Aの支払方法

支払方法	M & A 件数	M & A 関連金額 (100万ドル)	M & A 金額 関連件数
現金	147	21,485.78	140
現金約定	0	0	0
転換社債	1	25	1
債務引受	18	9,856.39	17
繰延支払	8	1,765.85	8
支払計画	0	0	0
銀行信用	1	1,800	1
株式	7	1,047.62	7
その他	3	13.16	2
合計	185	35,993.80	176

(出所) BvD-Zephyr から筆者作成

払方法の平均よりもはるかに大きい (図表 3-5 参照)。

4. 中国民営企業の海外グリーンフィールド投資の新傾向

統計データを見ると、2005年～16年における民営サンプル企業の海外グリーンフィールド投資は、全国の海外グリーンフィールド投資の成長傾向と基本的に一致している。その12年間で、民営サンプル企業のグリーンフィールドへの投資案件数は全国の12%を占め、金額は20%を占めていたことから、民営サンプル企業によるプロジェクト当たりの投資額が大きいことが分かる。特に2014年と16年では、民営サンプル企業の海外グリーンフィールド投資プロジェクトの金額指数は数量指数を上回っており、2015年の金額指数はやや下がったが、数量指数との差はそれほど小さくなく、民営企業による大型プロジェクトの海外グリーンフィールド投資展開は徐々に拡大傾向になってきた。

海外グリーンフィールド投資のソースについて、プロジェクト数の割合分布は、珠江デルタ

が41.66%、長江デルタが30.6%、中西部地域が16.84%、環渤海地域が10.88%を占めており、その金額は、環渤海地域が45.93%、長江デルタが25.82%、中西部地域が15.87%、珠江デルタが12.36%である。各プロジェクトの平均金額では768.77億米ドルと環渤海地域が最も大きく、その他の地域では中西部地域が同171.89億米ドル、長江デルタが同153.73億米ドル、珠江デルタが同53.99億米ドルとなっている。つまり、環渤海地域では投資案件数は少ないが、金額は最も大きく、プロジェクト当たりの金額が最大である。

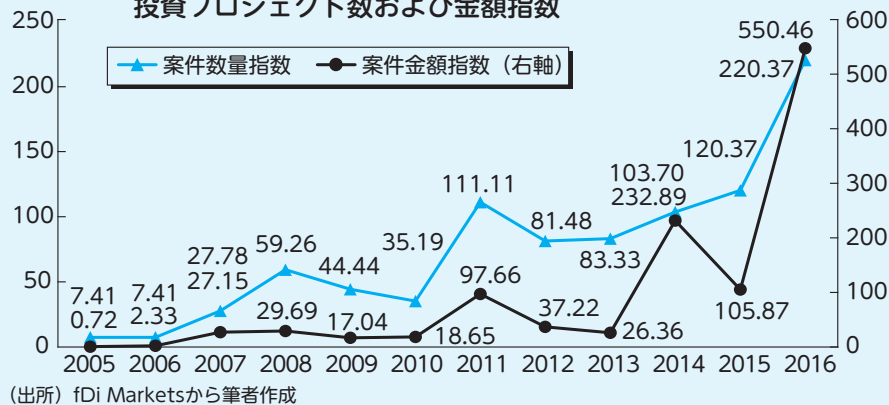
グリーンフィールド投資目的地域の視点から見

ると、2005年から16年までの12年間で、サンプル企業のグリーンフィールド投資案件数の上位3位の割合はヨーロッパが34.70%、アジアが31.83%、北米が11.70%であり、投資額の上位3位は、アジアが41.04%、アフリカが25.05%、ヨーロッパが15.27%である。しかし各プロジェクト当たりの平均金額で計算した場合は大きく異なり、上位3位の分布は、アフリカの6.01億米ドル、オセアニアの1.42億米ドル、北米の1.32億米ドルである。アフリカはわずか37件のプロジェクトしかないが、その金額は222.23億米ドルに達している。

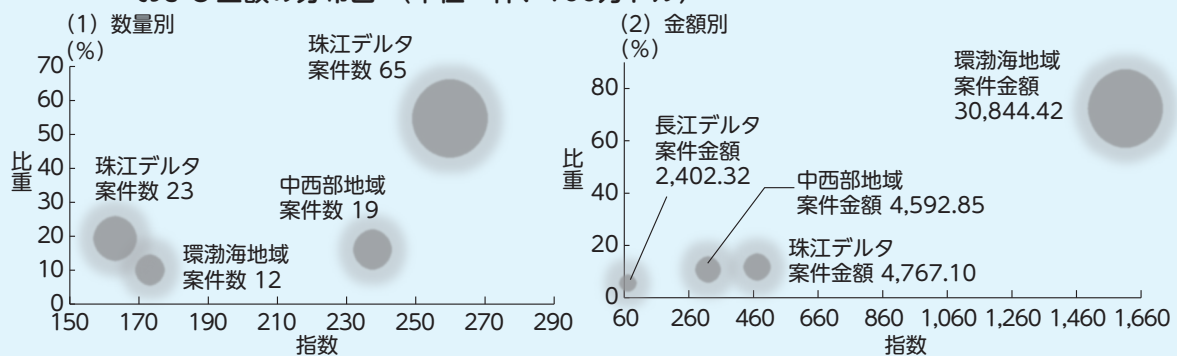
また、2005年から16年までの12年間で、投

資目的国（地域）別で見ると、サンプル企業のグリーンフィールド投資プロジェクト数の上位5位は、米国、インド、ドイツ、英国とブラジルであり、金額の上位5位は、エジプト、インド、米国、インドネシアとブル

図表4-1 2005年～2016年民営サンプル企業の海外グリーンフィールド投資プロジェクト数および金額指数



図表4-2 2016年海外グリーンフィールド投資した民営サンプル企業の所在地別プロジェクト数および金額の分布図 (単位: 件、100万ドル)



ネイである。各プロジェクト当たりの平均金額では、ブルネイのプロジェクトが最大で、一件しかないものの金額は43億米ドルにも及ぶ。次いでエジプトは合計8件のプロジェクトがあり、その総額は203.04億米ドル、平均プロジェクト当たりでは25.38億米ドルである。3位から5位は英国、インドネシア、インドで、プロジェクト当たりの投資金額はそれぞれ19.96億米ドル、4.03億米ドル、3.8億米ドルである。

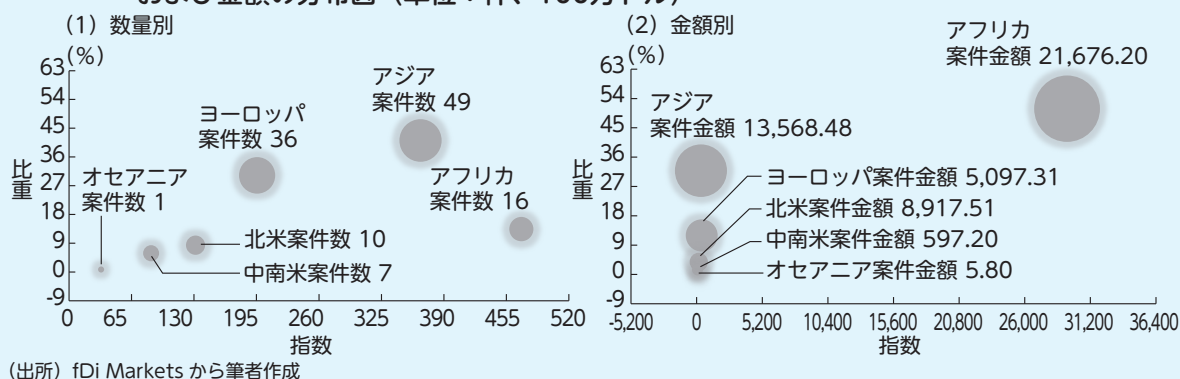
サンプル企業の業界別から見れば、2005年から16年の12年間で、製造業の投資案件数は72.69%を占め、非製造業は27.31%を占めている。製造業を100%とすると、高技術の

割合は50.85%、中高技術は31.64%、中低技術は12.15%、低技術は5.37%である。投資金額の面では、製造業と非製造業がそれぞれ33.06%と66.94%を占めている。同じく製造業を100%とし、その割合を順に並べると、中低技術は37.33%、中高技術は36.61%、高技術は21.26%、低技術は4.78%である。海外グリーンフィールド投資産業別データによると、低技術はプロジェクト数とプロジェクト金額の両方ともに最も少ないことが分かった。

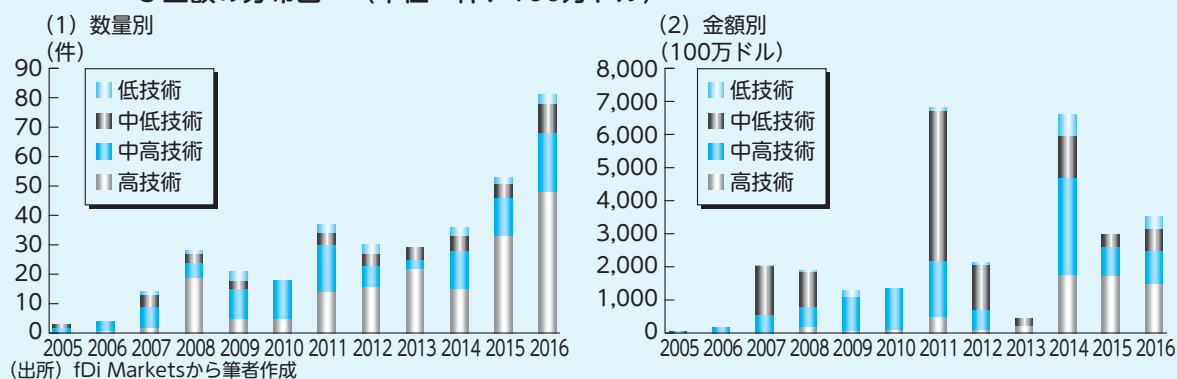
5. 結語

経済力の拡大、特に「一帯一路」戦略の実施に

図表4-3 2016年海外グリーンフィールド投資した民営企業の標的国（地域）別プロジェクト数および金額の分布図（単位：件、100万ドル）



図表4-4 海外グリーンフィールド投資した民営サンプル企業製造業技術別のプロジェクト数および金額の分布図（単位：件、100万ドル）



に伴い、中国企業は海外投資の好調期に入った。しかし、国有企業とは異なり、民营企业にとってはチャンスであるとともにチャレンジでもある。投資リスクは国際レベルで存在するばかりでなく、中国国内でも政策変更に伴う多くの投資不確実性に直面している。2017年7月、国家発展改革委員会が、不動産、ホテル、映画館、娯楽業、スポーツクラブなどの領域において、海外投資の監督管理を強化する規定を突然公布したのがその一例である。この規定は、中国政府部門が一部の企業、特に民营企业の海外投資プロジェクトに対して制限的措置を取ることを意味している。しかし、中国の民营企业も、海外直接投資の際に国有企業にはない、柔軟性という優位を有しており、今後の見通しはさらに良くなっていくものと信じている。

中国民营企业の重要性がますます多くの人々に

認識されているにもかかわらず、現段階までにはほとんどのデータベースで民営と国有企業が区分できず、民营企业海外直接投資に関する専有データベースもなく、これら領域に関する統計分析などの資料も大変少ない。本稿は、『中国民营企业海外直接投資指数年度報告 2017』（薛ほか著、人民出版社、2017年）に基づいて作成したものである。2017年度から、筆者らの研究チームは、南開大学で「中央専項基本科研業務資金」という助成金の支給を受け、中国国内で初めて民营企业海外直接投資に関するデータベースを創設し、またそれに基づいて、報告書を作成・出版した。始動したばかりであるが、今後、同研究チームは、中国民营企业海外直接投資に関するデータベースおよび当指数年度報告書を引き継ぎ、充実・更新させていく予定である。



附表1 2016年度中国民营企业TOP500の
海外投資目的地ランキングTOP10
(数量別)

順番	目的地	案件数量 (件)
1	米国	28
2	香港	17
3	インド	15
4	英国	10
5	ドイツ	9
6	チェコ共和国	7
7	オーストラリア	7
8	英国領バージン諸島	7
9	タイ	6
10	シンガポール	6

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表2 2016年度中国民营企业TOP500の
海外投資目的地ランキングTOP10
(金額別)

順番	目的地	項目金額 (百万ドル)
1	エジプト	20,230
2	米国	8,914
3	インド	7,963
4	ケイマン諸島	3,916
5	フランス	3,645
6	香港	2,958
7	カンボジア	2,006
8	オーストラリア	1,813
9	インドネシア	1,807
10	英国	1,643

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表3 2016年度中国民营企业TOP500
の海外 M & A 投資目的地ランキン
グTOP10 (数量別)

順番	M & A 目的地	案件数量 (件)
1	米国	18
2	香港	17
3	チェコ共和国	7
4	英国領バージン諸島	7
5	オーストラリア	6
6	ケイマン諸島	5
7	英国	3
8	ドイツ	3
9	シンガポール	3
10	カザフスタン	3

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表4 2016年度中国民营企业TOP500
の海外 M & A 投資目的地ランキン
グTOP10 (金額別)

順番	M & A 目的地	項目金額 (千ユーロ)
1	米国	6,668,659
2	ケイマン諸島	3,582,534
3	香港	2,690,861
4	オーストラリア	1,837,755
5	チェコ共和国	1,240,085
6	スペイン	1,158,094
7	アラブ首長国連邦	845,911
8	英国領バージン諸島	822,256
9	タイ	741,770
10	英国	582,672

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表5 2016年度中国民营企业TOP500
の海外グリーンフィールド投資目的
地ランキングTOP10 (数量別)

順番	グリーンフィールド投資目的地	案件数量 (件)
1	インド	14
2	米国	10
3	英国	7
4	ドイツ	6
5	エジプト	6
6	日本	5
7	マレーシア	5
8	ロシア	4
9	タイ	4
10	シンガポール	3

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表6 2016年度中国民营企业TOP500
の海外グリーンフィールド投資目的
地ランキングTOP10 (金額別)

順番	グリーンフィールド投資目的地	項目金額 (百万ドル)
1	エジプト	20,230
2	インド	7,963
3	フランス	3,325
4	カンボジア	2,006
5	インドネシア	1,807
6	米国	1,662
7	エチオピア	1,227
8	マレーシア	1,102
9	英国	987
10	メキシコ	445

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表7 2016年度中国民営企業TOP500の
海外直接投資製造業別TOP10(数量)

海外投資の標的製造業業界	案件数 (件)	産業技術 分類
ラジオ、テレビ、通信機器	39	高技術
自動車、トレーラーおよびセミトレーラー	27	中高技術
オフィス、会計およびコンピュータ設備	9	高技術
その他の機械設備	6	中高技術
ゴムおよびプラスチック製品	5	中低技術
食べ物、飲み物、たばこ	5	低技術
織物、繊維および衣料品の製造（毛皮の仕上げおよび染色、革の日焼けおよびドレッシング、荷物、ハンドバッグ、ハーネスおよび履物）	5	低技術
電気機械および装置	4	中高技術
コークス、石油精製品および核燃料	4	中低技術
基本的な金属製品および加工金属製品（機械および設備を除く）	4	中低技術

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表8 2005年～2016年中国民営企業
TOP500の海外M & A投資の融資
パターンTOP 5(金額別)

ファイナンスモデル	案件金額 (百万ドル)	案件数 (件)
プライベート・エクイティ	9,372	15
ベンチャーキャピタル&プライベート・エクイティ	3,363	5
増資+資本注入	3,094	38
新銀行信用枠&プライベート・エクイティ	2,895	2
プライベート・プレースメント	2,133	33

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

附表9 2005年～2016年中国民営企業
TOP500の資本転移地であるケイ
マン諸島、英国領バージン諸島、バ
ミューダ諸島、香港の投資件数

	ケイマン 諸島	英国領 バージン 諸島	バミュー ダ諸島	香港	合計
2005	1	0	0	0	1
2006	0	0	0	0	0
2007	0	0	0	2	2
2008	1	1	0	4	6
2009	1	1	0	2	4
2010	1	0	2	1	4
2011	1	1	0	8	10
2012	1	0	0	3	4
2013	2	1	0	4	7
2014	2	0	0	4	6
2015	7	0	0	4	11
2016	5	7	1	17	30
合計	22	11	3	49	85

(出所) BvD-Zephyr と fDi Markets から筆者作成

[著者] _____

薛 軍 (せつ ぐん)



中国南開大学経済学院 教授

蘇 二豆



中国南開大学経済学院 博士後期
学生

喬 冀超



中国南開大学グローバル経済研究
センター 助理